

二小だより

土浦市立土浦第二小学校 2012.3.12

<http://www.tsuchiura.ed.jp/~nisho/>

校長室の窓から



職員室前の掲示板

職員室前の掲示板は、今年度の卒業記念品です。今、「おめでとう、そしてありがとう」の言葉とともに、6年生ひとりひとりの名札を付けた、1年生の描いた絵が貼ってあります。6年生は全員いい顔をして笑っています。

今年は、寒さがいつまでも続いています。が、カレンダーは3月。春はすぐそこに来ています。

「3月」からみなさんは、どういったことを連想されますか。

別れ
まとめ
出会い
卒業 などなど

人それぞれに思い浮かぶものがあるはずですが。その中には、去年の地震を連想される方もあるかもしれません。今年度は、物質的にも精神的にもその地震からの立て直しから始まりました。

この一年、子どもたちはがんばりました。
 (知) どの教室でも見られる真剣な学習態度
 学習規律の確立
 家庭学習や自主学習に積極的に取り組む子どもが増えたこと
 全員が10冊以上の読書達成
 しっかりとした授業が展開され、これらは学力診断テスト等の結果にも反映されています。

(体) 中央地区陸上記録会での活躍、運動会で見せた力強い演技、縄跳びや持久走への積極的な取り組み、外で元気に遊ぶ子どもたち
 インフルエンザによる学級閉鎖はあったものの、自分の健康管理に気を配る子どもたちが増えました。
 運動に親しみ身体を動かす楽しさを感じることができたこと、健康に対して自己管理能力が少しずつついてきたことは、将来役立つに違いありません。

(徳) 学級閉鎖の学級の分担を清掃する子どもたち
 時間を守る、あいさつをするなどあたりまえのことがあたりまえにできる子どもたち
 見たこと聞いたことに感動できる子どもたち

心の成長は著しいものがあります。「6年生を送る会」で見せた子どもたちの表情はすばらしく、見る人を感動させました。会場全体が暖かい雰囲気の中、下級生からは「6年生ありがとう」6年生からは「これからがんばって、バトンをつないでね」といった無言のエールが交わされたのを感じ取ることができました。このような子どもたちと共に生活できる私は、幸せです。



体育館の壁面には・・・

来年度に向けての確認



緊急時の原則的な下校方法について

4月当初、各家庭に配布しました。原則として2つの場合を考えています。
 ①電話・メール等が使える場合
 各家庭に下校の方法を連絡します。が、家庭と連絡が付かない場合は学校にて待機させます。
 ②電話・メールが使えない場合
 子どもたちを学校の安全な場所に待機させ、保護者への引き渡しをします。もう一度、確認していただければと思います。緊急メールは迅速・正確に届く一つの手段です。メールを必ず登録して下さい。また、連絡先等が変更になったときには、速やかに担任までお知らせ下さい。



自家用車の乗り入れについて

原則、徒歩か自転車での来校をお願いしています。特に雨の日は、お迎えの車と下校の子どもたちが交錯してしまい、大変危険な状況です。また、正門前を通行する運転手の方から「学校からよく左右を見ないで飛び出してくる車がある。非常に危険で困る。子どもたちの歩行はきちんとしているのに・・・」とおしかりの電話を受けることもあります。駐車場が狭いこと等諸条件が整わないため、来校は、原則、徒歩か自転車としておりますので、よろしくご協力をお願いいたします



「学び方ガイド」の活用について

「みんな伸びる、みんなで伸びる」という気持ちを込めて、「学び方ガイド」は作ってあります。「学びの基礎を身につける」では、学習の準備に始まり、よい聞き方・話し方、グループ学習の仕方、ノートの取り方など具体的に示してあります。また、「一人学びをめざして」では、家庭学習や自主学習についてどんな学習をするかといった例が挙げられています。「学び方ガイド」をもとに学校でも指導していますので、是非ご家庭でももう一度読んでいただきたいと思います。

「正しい言葉をつかおう」「つなぐ言葉をつかおう」そして「言葉を広げよう」

相手を意識した言葉遣いをさせたいと考えています。「おはよう」と「おはようございます」は、言う相手が違いますね。「これ貸して」と「～なので、これを貸してください」も同様です。丁寧語や尊敬語、謙譲語が発達段階に応じて、遣えるようになっていきたいと思います。また、先生方は子どもたちを「～さん」と呼びます。ご家庭でも友達同士をどのように呼んでいるか、子どもの言葉遣いに耳を傾けてみてください。そして、語彙を増やしましょう。言葉が豊かになると人に何かを伝えるのが上手になります。語彙を増やすには、わからない言葉を辞書で引く習慣を付けること、本をたくさん読むこと、覚えた言葉をつかうことが大切です。よき人間関係を構築させるためにも、言語環境を整えていきたいと思います。

「子どもたちのために」と考えているのは、先生方も保護者のみなさまと同じです。現在も、連絡帳やお電話、面接等で率直なご意見やご相談等をいただいておりますが、今後も子どもたちをよき方向に導いていく協力者としてスクラムを組んでいきたいと考えております。学校は、校長、教頭、担任、養護教諭などいろいろな立場で対応することができますので、ご遠慮なさらずに、どんな小さなことでもご相談いただければと思います。

1年間ありがとうございました
 忘れられない、そして忘れてはいけない3月11日はや1年がたちました。この1年間、保護者のみなさま・地域のみなさまには二小を温かく見守っていただきありがとうございました。来年度も、学校に対しましてご理解・ご協力をお願いいたします。